

私たちの暮らしと税金 ～親子で税を考える～

鶴岡市立朝陽第六小学校教諭 6学年 諏訪 重義

実施年月日：29年1月31日 31名

1 実践計画・指導のねらい

アンケート調査を実施したところ、子どもたちの暮らしの中で、「税金」という言葉はほぼ全員が知っていた。しかし、税金の種類や、生活中での使われ方などは理解できていないことが分かった。税率が8%、輸入するものにかかっている関税、税率がどんどん上がっていることを知っていたり、「御恩と奉公」に似ていると独自の発想をしたりする児童もいた。

そこで、児童がアンケートで一番知っているとした消費税を中心に、税率が引き上げられることや、身近な生活への影響などを調べさせ、理解を深めるとともに、税金への悪いイメージを社会では大切なものであるとイメージの変化をさせていきたいと考える。

2 単元構成・実際の指導状況 (単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導)

時間	学習内容	主な発問 (○)、子どもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
1	・税金とは何かを考える。 ・税金の種類や納税者について知る。	○ 税金とは何だろう。 ● 払わなければならないもの。いいものではない。という悪いイメージが多い。身の回りの税金の種類を学ぶことができた。 □使用教材名 副教材「わたしたちの暮らしと税金」
2	・税務署の方のお話を聞き、税金の大切さを知る。	○ 税金はどんなことに使われているのか、税務署の方にきいてみよう。 ● 税金がどのくらい集められているか、実際のお金と同じものを見て、触らせてもらいお金の大切さや重さを体験することができた。 □使用教材名 税のビデオ (マリンとヤマト)
3	・税金の役割・使われ方について考える。 ・納税の義務について学ぶ。	○ 税金が何に使われているか探してみよう。 ● 学校で使われているもののほとんどに税金が使われていることがわかった。国民には3つの義務があり、税金を納めることがその一つであることを学んだ。 □使用教材名 副教材 「わたしたちの暮らしと税金」
4	・税金の大切さについて考える。 ・親子で税金の学習をする。	○ これから税金を大切に使うにはどんな方法があるでしょう？ ● 税金を無駄にせず、正しく使っていく。「働く期間を長くしていく」「元気に生活して介護費を減らす」などの意見が出た。自分なりに税金を大切に使うことを考えることができた。 □使用教材名 副教材 「わたしたちの暮らしと税金」

【指導のポイント】《1時間目》

アンケートを基に知ってる税を発表したり、「わたしたちの暮らしと税金」を活用し、身近なものであることを確認した。

【指導のポイント】《2時間目》

自分たちの暮らしの中のいろいろなところで、税金が使われていることが分かった。税金がないとわたしたちの暮らしが大変になるということを実感することができた。

【指導のポイント】《3時間目》

資料「わたしたちの暮らしと税金」を読んで、税金の使われ方を学ぶ。学校の設備や、教科書などの学校生活の中でも多くの物に税金が使われていることを学習した。



3 実践の成果 (◎) と課題 (◆) (租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など)

- ◎ 子供たちの税金に対するマイナスのイメージが、学習を通して「大切なもの」「なくてはならないもの」と、イメージを変えることができた。
- ◎ 学校のほとんどの物に税金が使われることを学習した後に、子供たちが物を大切にすることが広がった。
- ◆ DVDなどの資料を活用すると子供にわかりやすかったが、税率が違ったり、税金に関係のない部分が目立ってしまうところ(キャラクター)を修正していただきたい。
- ◆ メディアでは、適切に使われていない報道ばかり取り上げられているので、小学校の発達段階に応じて指導する内容を選定する必要があることを留意した。